



親子でなにわ新発見!

おとな子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。

今回ご紹介するのは **ピースおおさか(大阪国際平和センター)** です。

手を つなぎましょう …の巻

夏です。

夏休みはファミリーでのお出かけが楽しいですね。

でも、ちょっと待って!

8月は、平和について考え直すいい機会でもあります。

夏休みの宿題のヒントになるかもしれません。



今回おじゃましたのは、『ピースおおさか』です。ここは、戦争と平和について学び、世界の平和に貢献するための施設です。エントランスを入ったところは2階になります。この階は「大阪空襲」の記録が展示してあります。1トン爆弾の複製模型の迫力にはただ驚くばかりです。次は1階へ。ここは、1931年からの15年戦争の歩みを中心に展示しています。講堂では、1日4回、大阪空襲や学童疎開のアニメなどの映画を上映しています。又、8月には夏休み子ども映画祭り「野坂昭如の戦争童話集」があります。18歳未満の子どもさんとその同伴者(2名まで)は入館料が無料になります。この講堂の壁面では、現在では内藤磯美さんの「昭和のこどもたち」と題した絵画の展示があります。内藤さんは、市立図書館で子ども向けに手作りの紙芝居もしている方です。家族の温かさが伝わってくる絵や、体験した戦争の絵が中心です。中庭は「刻の庭」と名付けられています。大阪空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈念する場所です。ここからは、エレベーターで3階へ。3階は、大戦後に起きた世界の戦火と、平和への取り組みについて理解が深められる展示です。「終末時計」として知られている「運命の日の時計」がこれまでどう時を刻んできたのか、時代背景とともに展示してあります。

また、毎月第2日曜は、「戦跡ウォーク」というツアーが開催されています。「ピースおおさか」の見学と大阪城公園やその周辺をめぐりながら戦争と平和を学ぶことができる内容になっています。くわしくは、お問い合わせください。

ここは大阪城公園の南東のすみにあり、アクセスもよいところです。戦争や平和についてファミリーで考えるきっかけにできればいいですね。近くには大阪城野外音楽堂があり、ライブなどがあるときにはとてもぎやかな場所です。帰りには大阪城へお散歩といったおでかけプランはいかがでしょう。みんなで手をつなげばきっと笑顔になれます! 写真、文 梅木智子

ピースおおさか <http://www.peace-osaka.or.jp>

場所 〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1

電話 6947-7208 FAX 6943-6080 開館 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館 月曜、国民の祝日の翌日、月末、年末年始(月曜が祝日の場合、翌日の火曜は開館)

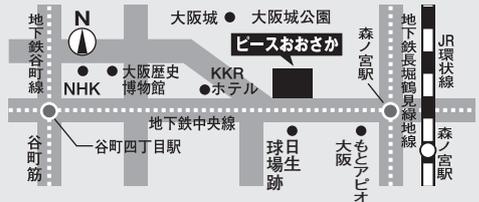
費用 大人250円、高校生150円

中学生以下、65歳以上、障がい者

の方は無料(要証明)

※ 20名以上は団体割引あり

交通 地下鉄・JR「森ノ宮」



おおさか歴史探訪 38

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

大坂七墓めぐり -庶民の夏の夜のレクリエーション-

旧暦のお盆となりました。今回は江戸時代後半に流行していた“大坂七墓めぐり”のおはなしです。

これはお盆の夜に、夜を徹して鐘や太鼓を叩いて当時大阪にあった7ヶ所の墓地をめぐるといふ風変わった習俗です。これをおこなうことにより千仏を供養したのに匹敵するご利益があるとか、自分の葬式の日雨降らないといった霊力があるなどといわれていました。井原西鶴をはじめ幾人かの作家の文学作品に登場したこともあります。盛んになりましたが、一方でいつしか信仰心は薄れ、夏の夜のレクリエーションとなり、集団で浮かれて七墓めぐりを“楽しんだ”といひます。

当時の庶民は、「大坂三十三観音霊場めぐり」や「地蔵四十八ヶ所めぐり」など都市内の巡礼を半ばレジャーとして楽しんでいました。七墓めぐりは徐々に服装も派手になり、男女風俗の乱れも目立ってきたため、天保改革(1841~43)の風俗取締りで「七墓めぐりと称し男女鐘叩き夜行するあり、以後差止む」とされ、その後徐々に下火となったそうです。

七墓の場所としては、いくつかの説があるのですが、梅田、葭原、蒲生、小橋、高津、千日、飛田などがあげられます。そのうちのひとつ、梅田墓は現在再開発がおこなわれているJR大阪駅北側あたりにあったことがわかっています。

